

AXIS P14 Network Camera Series

AXIS P1445-LE Network Camera

AXIS P1447-LE Network Camera

AXIS P1448-LE Network Camera

ユーザーマニュアル

AXIS P14 Network Camera Series

本マニュアルについて

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルでは、以下の項目に関する製品の情報を提供します。

- アクセス
- 主な使用事例
- トラブルシューティング
- 仕様

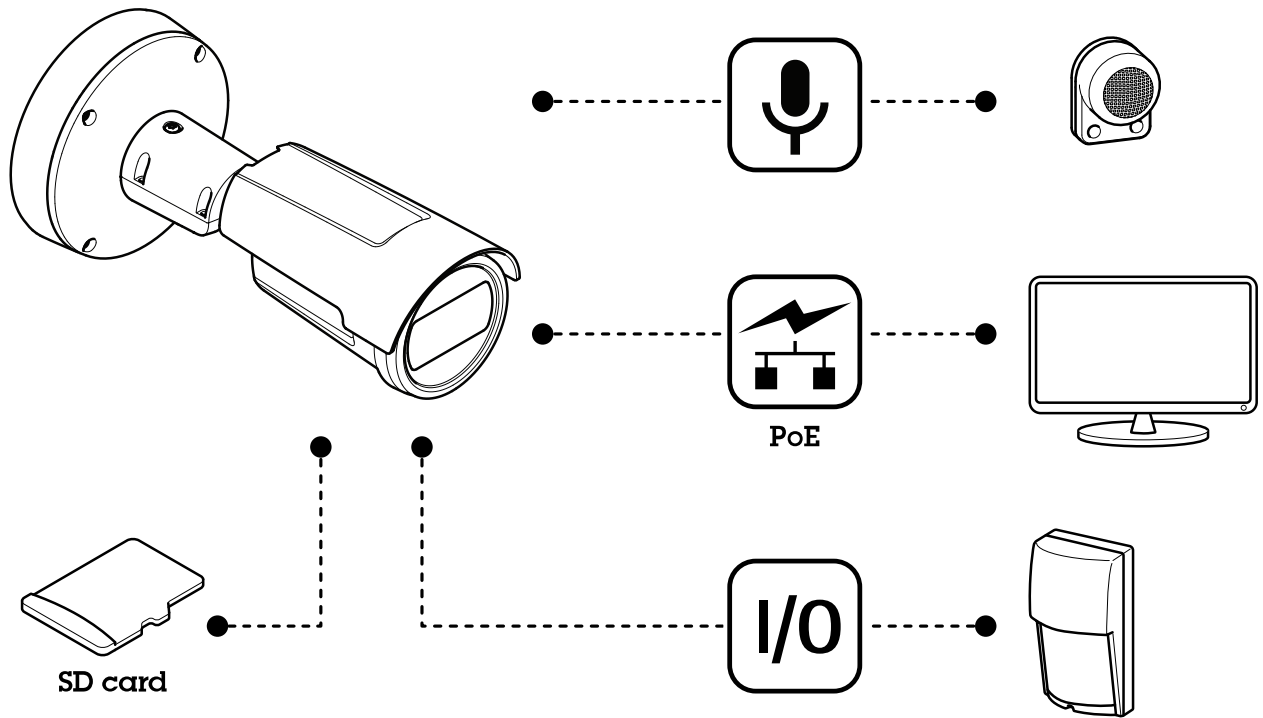
注意

このユーザーマニュアルには、複数の製品が含まれる場合があります。使用事例や仕様などの一部の内容は、一部の製品にのみ適用されます。正確な機能セットと仕様の詳細については、www.axis.comで製品のWebページとデータシートを参照してください。

AXIS P14 Network Camera Series

ソリューションの概要

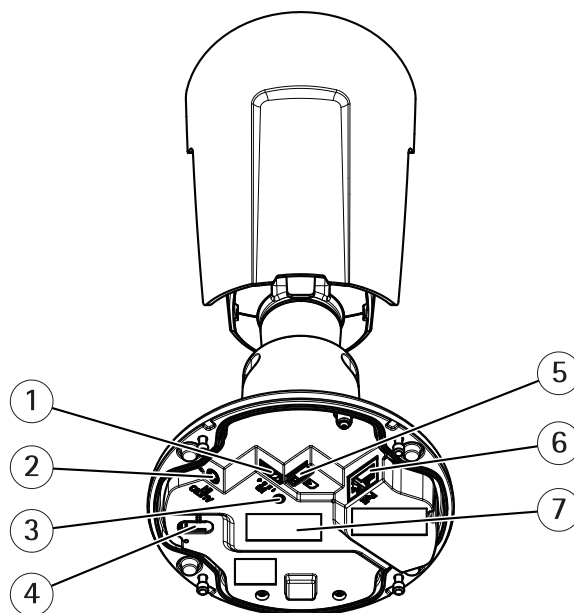
ソリューションの概要



AXIS P14 Network Camera Series

製品の概要

製品の概要



- 1 I/Oコネクタ
- 2 音声コネクタ
- 3 ステータスLEDインジケータ
- 4 コントロールボタン
- 5 microSDカードスロット
- 6 ネットワークコネクタ
- 7 型番 (P/N) とシリアル番号 (S/N)

AXIS P14 Network Camera Series

ネットワーク上のデバイスを検索する

ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、axis.com/supportからダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、デバイスページ (axis.com) にあるドキュメント『*IPアドレスを割り当ててデバイスにアクセスする方法*』を参照してください。

ブラウザから本製品へのアクセス方法

1. Webブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスフィールドに、本製品のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

Macコンピューター (OS X) から本製品にアクセスするには、SafariでBonjourをクリックし、ドロップダウンリストから本製品を選択します。Bonjourをブラウザのブックマークとして追加するには、[Safari > Preferences (Safari > 設定)] に移動します。

本製品のIPアドレスが不明な場合には、AXIS IP Utilityを使用して、ネットワーク上で本製品を特定します。IPアドレスの検出や割り当てを行う方法については、Axisのサポートホームページ (axis.com/support) にあるドキュメント『*IPアドレスの割り当てとビデオストリームへのアクセス*』を参照してください。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。初めて本製品にアクセスする場合は、最初にルートパスワードを設定する必要があります。
4. ブラウザーで製品のライブビューページが開きます。

安全なパスワードについて

重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用できるようにするためパスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことが強く推奨されています。

- 各デバイスに付属するデフォルトのパスワードを変更する。
- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

rootアカウントの安全なパスワードを設定する

重要

デフォルトの管理者ユーザー名はrootです。rootのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットしてください。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。5 ページの安全なパスワードについてを参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。

AXIS P14 Network Camera Series

ネットワーク上のデバイスを検索する

3. [Create login (ログインの作成)] をクリックします。これでパスワードが設定されました。

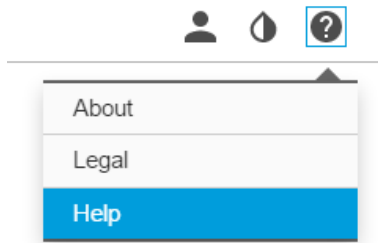
AXIS P14 Network Camera Series

設定

設定

本製品に内蔵されているヘルプについて

製品のWebページから内蔵のヘルプにアクセスできます。このヘルプでは、製品の機能やその設定に関する詳細情報を提供しています。



画質

露出モードの選択方法

特定の監視シーンの画質を向上させるために、開口、シャッター速度、およびゲインを調整するカメラの露出モードにはさまざまなオプションがあります。[Settings > Image > Exposure (設定 > 画像 > 露出)]に移動し、以下の露出モードから選択します。

- ほとんどの用途では、[Automatic (自動)] 露出を選択します。
- 蛍光灯など、特定の人工照明がある環境では、[Flicker-free (ちらつき防止)] を選択します。
- 蛍光灯照明がある夜間の屋外や太陽光が射す日中の屋外など、特定の人工照明や明るい光がある環境では、[Flicker-reduced (ちらつき低減)] を選択します。
- 現在の露出設定を固定するには、[Hold current (現在の状態で固定)] を選択します。

ビューエリアについて

ビューエリアは、全体画像から一部をクリッピングした画像です。全体画像の代わりにビューエリアをストリーミングおよび保存することで、必要な帯域幅とストレージ容量を最小限に抑えることができます。ビューエリアに対してPTZを有効にすると、そのビューエリア内でパン/チルト/ズームを行うことができます。ビューエリアを使用すると、空など全体画像の一部を削除することができます。

ビューエリアを設定するときは、ビデオストリームの解像度をビューエリアのサイズ以下のサイズにすることを勧めます。ビデオストリームの解像度をビューエリアのサイズより大きいサイズに設定すると、センサーがキャプチャーした後にビデオがデジタルで拡大されるため、画像情報の追加なしでも必要な帯域幅が増えます。

プライバシーマスクで画像の一部を非表示にする方法

プライバシーマスクとは?

プライバシーマスクは、監視領域の一部をユーザーに非表示にするユーザー定義のエリアです。ビデオストリームで、プライバシーマスクは塗りつぶされたブロックとして表示されます。

プライバシーマスクは、すべてのスナップショット、録画されたビデオ、ライブストリームに表示されます。

VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェース (API) を使用して、プライバシーマスクを無効にすることができます。

AXIS P14 Network Camera Series

設定

重要

複数のプライバシーマスクを使用すると、製品のパフォーマンスに影響する場合があります。

プライバシーマスクを作成する方法

プライバシーマスクを作成するには、[Settings > Privacy mask (設定 > プライバシーマスク)]に移動します。

フォーカスの方法

1. 製品のWebページにログインし、[Settings > Image > Focus] (設定 > 画像 > フォーカス)に移動します。
2. フォーカスを合わせる画像の範囲を設定するには、[Show AF area] (オートフォーカスエリアの表示)をクリックします。オートフォーカスエリアを選択しない場合、シーン全体にフォーカスが合わせられます。
3. [Autofocus] (オートフォーカス)をクリックします。
4. フォーカスを微調整するには、フォーカススライダーを使用します。

リモートフォーカス/ズームについて

リモートフォーカス/ズーム機能を使用すると、コンピューターからカメラのフォーカスとズームを調整することができます。カメラの設置場所に行かなくても、シーンのフォーカス、画角、解像度を最適化できる便利な方法です。



左: フォーカスなし。 右: リモートフォーカス適用。

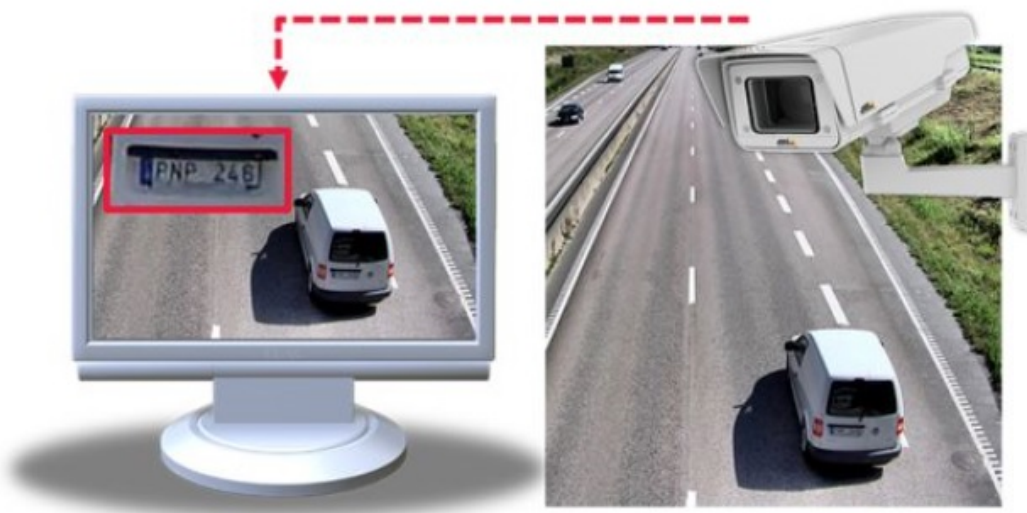


左: ズームなし。 右: リモートズーム適用。


AXIS P14 Network Camera Series

設定

ナンバープレート認識を強化する方法



通過する車のナンバープレートの認識精度を高めるために、多くの設定を適用および調整することができます。1つのオプションは、カメラでピクセルカウンターを使用して最適なピクセル解像度を設定することです。

1. [Settings > System] (設定 > システム) > [Orientation] (向き) に移動し、 をクリックします。
2. 通過する車のナンバープレートが表示されることが予想される位置など、対象範囲のカメラのライブビュー内で四角形のサイズおよび配置を調整します。そうすると、四角形の各辺にピクセル数が表示されます。

注意

ビュー内の既知サイズの物体を参考にして、認識に必要な解像度を判断することができます。

さらに、次の設定を調整して、ナンバープレートの認識を最適化することができます。

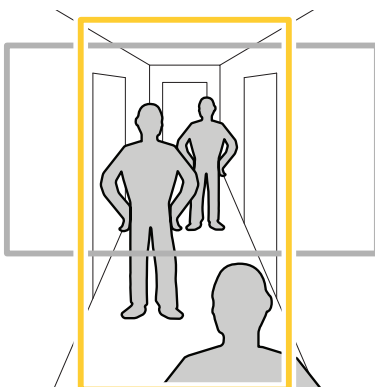
- Shutter speed (シャッター速度)
- Gain (ゲイン)
- Zoom (ズーム)

細長いエリアを監視する方法

階段、廊下、道路またはトンネルなどの細長いエリアにおける視野をすべてよりよく活用するためには、Corridor Formatを使用します。

AXIS P14 Network Camera Series

設定



1. 製品によって、カメラまたはカメラの3軸レンズの向きを90° または270° 回転します。
2. 製品の視野が自動的に回転しない場合は、製品のWebページにログインし [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] > [Orientation (向き)] に移動します。視野を90° または270° 回転させます。

詳細については、axis.com/axis-corridor-formatをご覧ください。

低光量下でノイズを減らす方法

低光量の条件下でノイズを少なくするために、以下のうち1つ以上の設定を調整することができます。

- ・ 露出モードが自動的に設定されていることを確認する。

注意

最大シャッター値を上げると、動きによる画像のブレが生じる場合があります。

- ・ シャッター速度はできるだけ低速にする。つまり、最大シャッター値はできるだけ高い値に設定する必要があります。
- ・ 画像のシャープネスを下げる。
- ・ 最大ゲイン値を小さくします。

逆光の強いシーンの処理方法

画像の暗い部分と明るい部分の両方が見えるようにするには、WDRをオンにします。

1. [Settings > Image (設定 > 画像)] に移動します。
2. [Wide dynamic range (ワイドダイナミックレンジ)] でWDRをオンにします。



WDRを使用していない画像。

AXIS P14 Network Camera Series

設定



WDRを使用している画像。

注意

WDRを使用すると、画像にWDRによるアーティファクトが現れることがあります。

WDRとその使用方法の詳細については、axis.com/web-articles/wdrをご覧ください。

ナイトモードを使用して低光量下で赤外線照明からメリットを得る方法

日中、カメラは可視光を利用してカラー画像を提供します。照度が下がるにつれて、カメラが自動的にナイトモードに切り替わるように設定できます。ナイトモードでは、カメラは可視光と近赤外光の両方を利用して白黒画像を提供します。カメラはより多くの利用可能な光を利用するため、より明るく精細な画像を提供できます。

1. [Settings > Image > Day and night (設定 > 画像 > デイナイト)] の順に移動し、[IR cut filter (IRカットフィルター)] が [Auto (自動)] に設定されていることを確認します。
2. カメラがナイトモードに切り替わる光量レベルを設定するには、[Threshold (しきい値)] スライダーを [Bright (明るい)] または [Dark (暗い)] の方に動かします。

注意

明るいときに切り替わるように設定した場合、低光量ノイズが少ないため画像のシャープさが残ります。暗いときに切り替わるように設定した場合、画像のカラーはより長く維持されますが、低光量ノイズによる画像のブレが多くなります。

3. [Allow IR illumination (赤外線照明を許可)] と [Synchronize IR illumination (赤外線照明の同期)] を有効にすると、ナイトモードのときにカメラ内蔵の赤外線照明を使用できます。

最大限に詳細な画像を撮影する方法

重要

最大限に詳細な画像を撮影すると、ビットレートが増加するため、フレームレートが減少する場合があります。

- 圧縮率はできるだけ低く設定します。
- MJPEGストリーミングを選択します。
- Zipstream機能をオフにします。

オーバーレイ

オーバーレイについて

オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。オーバーレイは、タイムスタンプなどの録画時の補足情報や、製品のインストール時および設定時の補足情報を表示するために使用します。

AXIS P14 Network Camera Series

設定

カメラが動きを検知したときにテキストオーバーレイを表示する方法

この例では、カメラが動きを検知したときに「動体検知」というテキストを表示する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

オーバーレイテキストの追加:

4. [Settings > Overlay (設定 > オーバーレイ)] に移動します。
5. テキストフィールドに「#D」と入力します。
6. 位置、テキストサイズ、および外観を選択します。
7. オーバレイテキストを [Include (含める)] を選択します。

アクションルールの作成:

8. [System > Events (システム > イベント)] > [Action rules (アクションルール)] の順に移動します。
9. AXIS Video Motion Detectionをトリガーにするアクションルールを作成します。
10. アクションのリストから、[Overlay text (オーバーレイテキスト)] を選択します。
11. 「動体検知」と入力します。
12. 期間を設定します。

ストリーミングとストレージ

ビデオ圧縮フォーマットの選択方法

使用する圧縮方式は、表示要件とネットワークのプロパティに基づいて決定します。以下から選択を行うことができます。

Motion JPEG

Motion JPEGまたはMJPEGは、個々のJPEG画像の連続で構成されたデジタルビデオシーケンスです。これらの画像は、十分なレートで表示、更新されることで、連続的に更新される動きを表示するストリームが作成されます。人間の目に動画として認識されるためには、1秒間に16以上の画像を表示するフレームレートが必要になります。フルモーションビデオは、1秒間に30フレーム (NTSC) または25フレーム (PAL) で動画と認識されます。

Motion JPEGストリームは、かなりの帯域幅を消費しますが、画質に優れ、ストリームに含まれるすべての画像にアクセスできます。

H.264またはMPEG-4 Part 10/AVC

注意

H.264はライセンスされた技術です。本製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、MPEG-4標準規格と比較すると50%以上を削減できます。そのため、ビデオファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が少なくなります。また、別の見方をすれば、より優れた映像品質が同じビットレートで得られることになります。

AXIS P14 Network Camera Series

設定

帯域幅とストレージ容量を削減する方法

重要

帯域幅を削減すると、画像の詳細度が失われる可能性があります。

1. ライブビューに移動し、[H.264] を選択します。
2. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動します。
3. 以下の操作を1つ以上実行します。
 - Zipstream機能をオンにし、希望のレベルを選択する。
 - ダイナミックGOPをオンにし、GOP長を高い値に設定する。
 - 圧縮度を増やす。
 - ダイナミックFPSをオンにする。

ネットワークストレージの設定方法

ネットワーク上に録画を保存するには、以下のようにネットワークストレージを設定する必要があります。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Storage (ストレージ)] の順に移動します。
2. [Network storage (ネットワークストレージ)] の [Setup (設定)] をクリックします。
3. ホストサーバーのIPアドレスを入力します。
4. ホストサーバー上の共有場所の名前を入力します。
5. 共有にログインが必要な場合はスイッチを移動し、ユーザー名とパスワードを入力します。
6. [Connect (接続)] をクリックします。

録画に音声を追加する方法

録画に使用するストリームプロファイルを編集します。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Stream profiles (ストリームプロファイル)] の順に移動します。
2. ストリームプロファイルを選択し、[Modify (変更)] をクリックします。
3. [Audio (音声)] タブで、[Audio stream (音声ストリーム)] チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストから [On (オン)] を選択します。
4. [Ok] をクリックします。

イベント

イベントについて

イベントページでは、さまざまなイベントが発生したときに本製品がアクションを実行するように設定できます。たとえば、動きが検知されたときに録画を開始したり、メール通知を送信したりできます。いつどのようにアクションをトリガーするかを定義した一連の条件をアクションルールと呼びます。

アクションをトリガーする方法

1. [Settings > System > Events (設定 > システム > イベント)] に移動し、アクションルールを設定します。アクションルールによって、カメラが一定のアクションを実行するタイミングを定義します。アクションルールは、スケジュール、繰り返し、または動体検知によるトリガーなどを利用して設定できます。

AXIS P14 Network Camera Series

設定

2. アクションをトリガーする条件となる**トリガー**を選択します。アクションルールに複数のトリガーを指定した場合、すべてのトリガーが満たされたときにアクションがトリガーされます。
3. 条件が満たされたときに、カメラが実行する**アクション**を選択します。

注意

アクティブなアクションルールを変更する場合は、アクションルールを再起動して変更内容を有効にする必要があります。

カメラが動きを検知したときにビデオを録画する方法

この例では、カメラが動きを検知する5秒前にSDカードへの録画を開始し、1分後に停止するようにカメラを設定する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

アクションルールの作成:

4. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。
5. アクションルールの名前を入力します。
6. トリガーのリストから [Applications (アプリケーション)] を選択し、[AXIS Video Motion Detection (VMD)] を選択します。
7. アクションのリストから、[Record video (ビデオを録画する)] を選択します。
8. 既存のストリームプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成します。
9. プリトリガー時間を5秒に設定します。
10. ポストトリガー時間を60秒に設定します。
11. ストレージオプションのリストから、[SD card (SDカード)] を選択します。
12. [Ok] をクリックします。

PIR検知器が動きを検知したときにビデオを録画する方法

この例では、Axis PIR検知器をカメラに接続し、検知器が動きを検知したときに録画を開始するようにカメラを設定する方法について説明します。

必要なハードウェア

- 3ワイヤーケーブル (アース、電源、I/O)
- Axis PIR検知器

注記

ワイヤーを接続する前に、カメラを電源から切り離します。すべての接続が完了した後に電源に再接続します。

カメラのI/Oコネクタに配線を接続します

注意

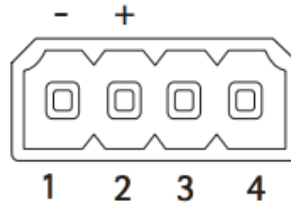
I/Oコネクタについては、21ページのコネクタを参照してください。

AXIS P14 Network Camera Series

設定

1. アース線をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーをピン2 (12V DC出力) に接続します。
3. I/Oワイヤーをピン3 (I/O入力) に接続します。

PIR検知器のI/Oコネクタに配線を接続します



1. アース線のもう一方の端をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーのもう一方の端をピン2 (DC入力/+) に接続します。
3. I/Oワイヤーのもう一方の端をピン3 (I/O出力) に接続します。

カメラのWebページでI/Oポートを設定します

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [I/O ports (I/Oポート)] の順に移動します。
2. 入力モジュールに分かりやすい名前を付けます。
3. PIR検知器が動きを検知したときに、検知器がカメラに信号を送信するには、ドロップダウンリストから [Closed circuit (閉路)] を選択します。

カメラがPIR検知器から信号を受信したときに、録画を開始するようにカメラをトリガーするには、カメラのWebページでアクションルールを作成する必要があります。

アプリケーション

アプリケーションについて

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、axis.com/applicationsを参照してください。

Axisアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、axis.comを参照してください。

注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行することも可能ですが、中には互換性のないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。アプリケーションを展開する前に、同時に実行できることを確認してください。

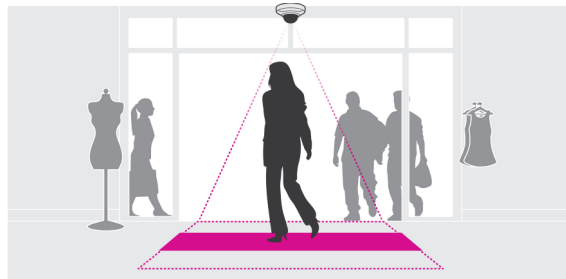
AXIS People Counter

AXIS People Counter is an analytic application that can be installed on a network camera.

The counter is embedded in the camera which means you do not need a dedicated computer to run the application. AXIS People Counter is intended for retail environments, like stores or shopping malls, or other environments where you want to count people.

AXIS P14 Network Camera Series

設定



AXIS P14 Network Camera Series

トラブルシューティング

トラブルシューティング

工場出荷時の設定にリセットする方法

重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。

1. 本製品の電源を切ります。
2. コントロールボタンを押した状態で電源を再接続します。4ページの、製品の概要を参照してください。
3. ステータスLEDインジケーターが黄色に点滅するまで、コントロールボタンを15～30秒間押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
5. インストールおよび管理ソフトウェアツールを使用してIPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。


axis.com/supportのサポートページに、インストールおよび管理ソフトウェアツールが用意されています。

Webインターフェースを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。[Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)]を選択し、[Default (デフォルト)]をクリックします。

現在のファームウェアの確認方法

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際には、まず、現在のファームウェアバージョンを確認してください。最新バージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには:

1. 本製品のWebページに移動します。
2. ヘルプメニューをクリックします。 
3. [About (バージョン情報)]をクリックします。

ファームウェアのアップグレード方法

重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

重要

アップグレードプロセス中は、本製品を電源に接続したままにしてください。

AXIS P14 Network Camera Series

トラブルシューティング

注意

最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、axis.com/support/firmwareを参照してください。

1. 最新のファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルはwww.axis.com/support/firmwareから無料で入手できます。
2. 製品に管理者としてログインします。
3. [Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)]の順に移動します。ページの指示に従います。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

複数のアップグレードを行う場合は、AXIS Device Managerを使用できます。詳細については、axis.com/products/axis-device-managerをご覧ください。

技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、axis.com/supportのセクションに記載されているトラブルシューティングを行ってください。

ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

ファームウェアのアップグレード失敗	ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、製品は以前のファームウェアを再度読み込みます。不正なファームウェアファイルがアップロードされていることが最もよくある原因です。製品に対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。
-------------------	---

IPアドレスの設定で問題が発生する

本製品が別のサブネット上にある	本製品用のIPアドレスと本製品へのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定できません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。
IPアドレスが別のデバイスで使用されている	本製品をネットワークから切断します。pingコマンドを実行します(コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドと製品のIPアドレスを入力します)。 <ul style="list-style-type: none">• もし、「Reply from <本製品のIPアドレス>: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでIPアドレスがすでに使用中の可能性があり。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、本製品を再度インストールしてください。• もし、「Request timed out」が表示された場合は、本製品でそのIPアドレスを使用できません。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、本製品を再度インストールしてください。
同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある	DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、本製品の静的IPアドレスが使用されます。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、本製品のアクセスに問題が発生する可能性があります。

AXIS P14 Network Camera Series

トラブルシューティング

ブラウザから本製品にアクセスできない

ログインできない	HTTPSが有効な場合は、正しいプロトコル (HTTPまたはHTTPS) を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。 rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。17ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください
DHCPによってIPアドレスが変更された	DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して本製品のネットワーク上の場所を特定してください。本製品のモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名 (設定されている場合) を使用して製品を識別します。 必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 axis.com/support を参照
IEEE 802.1X使用時の証明書エラー	認証を正しく行うには、本製品の日付と時刻をNTPサーバーと同期させなければなりません。[Settings > System > Date and time (設定 > システム > 日付と時刻)]の順に移動します。

本製品にローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

ルーターの設定	ルーターでAxis製品への着信データトラフィックが許可されているか確認してください。ルーターはUPnP®に対応している必要があります。
ファイアウォールによる保護	インターネットのファイアウォールについて、ネットワーク管理者に確認してください。

ストリーミングの問題

ローカルクライアントもしくはマルチキャストH.264にアクセスできない	ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、またはクライアントと本製品間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。
H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない	Axis製品で使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。
H.264画像のレンダリング品質が悪い	グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。
彩度がH.264とMotion JPEGで異なる	グラフィックアダプターの設定を変更します。詳細については、グラフィックカードのマニュアルページに移動してください。
フレームレートが予想したレートより低い	<ul style="list-style-type: none">20ページのパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。同時閲覧者の数を制限します。使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。画像の解像度を下げます。本製品の周波数 (60/50 Hz) によって、最大フレーム/秒は異なります。

AXIS P14 Network Camera Series

トラブルシューティング

パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量(ビットレート)に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- レンズを手動で回転させると、GUIから画像を回転させるときより高いパフォーマンスが得られます。
- Motion JPEGまたはユニキャストH.264を使用するクライアントのアクセス数が多すぎると帯域幅に影響を及ぼします。
- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームを同一に揃えることができます。
- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- インフラストラクチャーが貧弱なネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピューターで閲覧すると感知するパフォーマンスが低くなり、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと全般的なパフォーマンスに影響する場合があります。

AXIS P14 Network Camera Series

仕様

仕様

最新バージョンの製品のデータシートについては、axis.comで本製品のページを開いて「Support & Documentation (サポートとドキュメント)」へお進みください。

LEDインジケータ

ステータスLED	説明
無点灯	接続時と正常動作時は、無点灯のままです。
緑	起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。
黄	起動時に点灯し、ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。
黄/赤	ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、黄色/赤色で点滅します。
赤	ファームウェアのアップグレード失敗。

SDカードスロット

注記

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています。

推奨するSDカードについては、axis.comを参照してください

 microSD、microSDHC、およびmicroSDXCロゴは、SD-3C LLCの商標です。microSD、microSDHC、microSDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。17ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。
- AXIS Video Hosting Systemサービスに接続する。接続するには、ステータスLEDが緑色に点滅するまで約3秒間ボタンを押し続けます。

コネクタ

ネットワークコネクタ

RJ45イーサネットコネクタ、Power over Ethernet (PoE) 対応。

AXIS P14 Network Camera Series

仕様

音声コネクタ

本製品は、以下の音声コネクタを搭載しています。

- ・ **音声入力(ピンク)** - モノラルマイクロフォンまたはライン入力モノラル信号用3.5 mm入力。

音声入力には、ステレオ信号の左チャンネルが使用されます。

3.5 mm音声コネクタ



	1 チップ	2 リング	3 スリーブ
音声入力	マイクロフォン/ライン入力	マイクロフォンバイアス電圧	グラウンド

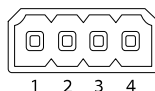
I/Oコネクタ

I/Oコネクタに外部装置を接続し、動体検知、イベントトリガー、アラーム通知などと組み合わせて使用することができます。I/Oコネクタは、0V DC基準点と電力(DC出力)に加えて、以下のインターフェースを提供します。

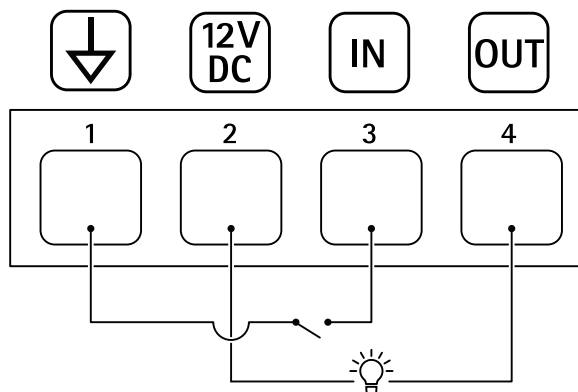
デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス (PIRセンサー、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

デジタル出力 - リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースまたは製品のWebページから有効にすることができます。

4ピンターミナルブロック



例



- 1 DCグラウンド
- 2 DC出力12V、最大25mA
- 3 デジタル入力
- 4 デジタル出力

